

美唄

BIBAI

三師会講演会

日時:平成29年6月21日(水) 午後3時~午後4時

場所:コアバイ ふれあいサロン

今回は、歯科医師会当番で「がんや歯周病以外の口の中にあられる病気について」という演題で大坪が担当した。



口内炎では、口腔カンジタ症、ヘルペス性口内炎について説明し、関連して難治性口角びらん、義歯性口内炎、また水疱瘡の減少による、中高年の帯状疱疹が増える傾向にあることも述べた。

唾液の減少によるドライマウス(口腔乾燥)では原因の除去とともに口の渇きを改善するケアを説明した。また、病的口臭の

原因の多くは歯や舌の汚れであり、歯磨き、舌磨きなどで改善すること、そして磨いた後は十分うがいをして汚れを洗い流すことの大切さを話した。

参加者は20人ほどで、ほとんど中高年の女性だった。

(大坪義和 記)

平成29年度「高齢者の歯のコンクール」

日時:平成29年7月6日(木) 午後2時より

場所:医療法人社団朋美会 孫歯科医院

やっと夏らしい暑さがやってきた7月6日の午後に孫会長の医院にて「高齢者の歯のコンクール」が開催された。

欠席者が1名いたが、男性1名女性2名が参加してくれた。満80歳以上で20本以上自分の歯を保っており、口腔内が正常で健康な方を歯科医師の先生から推薦された方が対象



となっている。驚くことに歯周組織もしっかりしている部位が多く、少しの差で順位を決めさせてもらった。

3名とも80歳以上とは思えないくらい若々しく元気で、歯がしっかりしていることと、健康が強く関係していることを改めて認識した。このコンクールを通して皆にもそれが伝わることを願う。

(寶崎さゆり 記)

平成29年度美唄歯科医師会学術講演会

日時:平成29年7月7日(金) 午後7時より

場所:美唄スエヒロホテル

標記講演会が開催され、今回は横浜より山手デンタルアートを開催されている遊亀裕一先生をお迎えして、咬合調整の少ないウラウンを考えるセミナーを開催していた。

遊亀先生はGCセミナーの講師を長年にわたり努められ、近年では先生の著書である「生体と調和する歯周組織に優しい歯冠修復物 - その考え方とラボワーク -」が出



版されて以来、「歯科技工士の立場から歯周組織に配慮した補綴装置のあり方について歯科医師や歯科衛生士の方々からの講演依頼が増えている」とお話ししていただいた。

今回の美唄歯科医師会のご講演は公開講座の形態を取らせていただいたので、近隣から歯科医師のみならず多くの技工士さん方のご参加をいただいた。

講演の内容は素晴らしいもので、高いクレンジングができてしまうメカニズムとその対応策についてわかりやすくご教授いただき、参加された皆さんは「目から鱗が落ちるとはこのことだ」と感動されていた。

なお、今回の講演会ではろうあ者の技工士さんのご参加があったので、技工士で手話通訳者としても活躍の工藤三重子先生にもご参加いただき手話通訳をお願いした。

(吉村治範 記)



小樽

OTARU

第18回定時総会

日時:平成29年6月16日(金) 午後7時より

場所:小樽経済センター 4F

標記定時総会が開催され、出席会員は99名中36名、委任状出席は30名であった。

加藤副会長の開会の辞の後、市村会長の挨拶、新入会員紹介(平田 肇 会員)がされた。報告事項では会務、日歯代議員会、道歯代議員会、衛生士専門学校、衛生士専門学校運営委員会、歯科医師国保組合の報告が行われた。

議案第1号では平成28年度決算に関する件について監査報告後、可決された。議案第2号では選挙管理委員会 細川匡則会員より次期役員、道歯代議員、予備代議員の立候補届が議長



- | | | | |
|--------|------|------|------|
| 地域医療 | 渡邊貴子 | 学校歯科 | 上浦庸司 |
| 監事 | 坂田道昭 | 山口一郎 | |
| 道歯代議員名 | 市村昌久 | 館宏 | |
| 予備代議員名 | 加藤友一 | 原田雅史 | |
| 国保組合議員 | 高村佳明 | 石毛 薫 | |

(山口大樹 記)

小樽・後志野球部対抗戦

日時:平成29年6月17日(土) 午後2時より

場所:仁木町 元気村野球場

北海道歯科医師野球大会(開催地:千歳)に向けて、毎年恒例の後志歯科医師会野球部との対抗戦が行われた。さわやかな涼風が心地よく、天候にも恵まれた。

今年は小樽歯科衛生士専門学校のリクリエーションと日程が重なり、小樽は7人、この日しか予定がなかった後志は11人の参加であった。試合成立のため、小樽は後志に2人の助っ人を恵んでもらい試合に臨んだ。昨年同様二年連続で、双方の参加者全員がフル出場となる異常事態となった。

昨年の雪辱を果たすべく初回は無失点に抑えたものの、二回に後志の猛攻に遭い8失点。その後、攻撃ではチャンスを作る

ハイキング

日時:平成29年6月17日(土)

場所:おたる自然の村

小樽歯科衛生士専門学校の恒例行事である、全学生参加のハイキングが行われた。学校職員も参加し、山岡義孝先生が先頭を平井 晋 主事が殿を務め、学生達と一緒に天狗山にある自然の村まで登山をした。

当日は晴天に恵まれ、学生から一名リタイアが出たものの、職員も盛り切った。

自然の村のBBQ会場では、先発隊の先生方に登山を終えた先生方も加わり、火起こしからスタートで、BBQが始まると学生達は大いに盛り上がり、一緒に楽しんだ。大変疲れたが、学生の思い出作りには貢献できたと思う。

(細川宗靖 記)

北海道歯科医師野球大会

日時:平成29年6月24日(土)

場所:千歳サン石野球場

昨年に引き続き、野球部の末席を汚ささせていただいておりま



三段撃ちの如く、打者3巡の猛攻となったのです!流れに乗った打線の怖いこと怖いこと!1回で19点を奪われました。ところが、その後、得点されたのは2回の1点のみで、3回は0点に抑えることができました。一方、我が小樽チームは3回の表に7点を返したものの、時すでに遅く7対20で敗北を喫しました。一体、1回の19点は何だったのか...当に夢幻の如くであったなら...と馬防柵の前で息絶え絶えとなった伊藤でした。

もう一試合は昨年快勝した岩見沢Bチームが相手でしたが、今年は全く違う展開となりました。初回表にいきなり4点を奪われ、その裏で4点をそのまま返したものの、2回表に10点を奪われ、4対14の大差となったのです!落ちてゆく平家の如く、このまま大差をつけられ連敗してしまうのでしょうか...? 否!負け慣れしている東京かどこの名門プロ野球チームと我が小樽チームは、唯一ここが違ったのです!まず、2回裏に5点を返し、3回表に1点を奪われ9対15となりました。ここから、老将 千葉 亘 先生を筆頭に打者2巡の猛反撃が開始されたのです!あの敵島の戦いを彷彿させる、神様でも思いつくことが困難なこの一大逆転劇を一体誰が予想できたでしょう!?不詳・伊藤も内野安打で打線の流れに一役を買い、最後は16対15の逆転